



本校は、昭和29年に開校した東京学芸大学の附属学校です。1学年約320名、8クラスあります。3地区の附属中学、一般中学、海外の学校から進学してきた生徒が同じクラスで学ぶのが特徴です。このパンフレットでは、本校の教育の特色について「授業」「行事」「SULE」「部活動」「キャリア」の5つの観点から紹介します。

1to1～「これからの教育」をつくる～

令和2年度入学生から「1to1(1人1台PC)」を開始しました。1人1台のMacBook Airをリース契約し、本校の教育活動の中で活用していくというものです。主体的に情報を集め、考え、表現・発信することができる生徒の育成を目指しています。



より活動的に

生徒が「表現」する場面が多くなりました。自分の考えを打ち込む、パフォーマンスを動画に撮り共有する、成果をまとめる、今まで以上に生徒の活動を中心とした授業展開がしやすくなりました。

より便利に

教師ー生徒間、そして生徒間での「共有」が容易になりました。ファイルを共有する、意見を共有する、画面を共有する、成果物を共有する、そして体験を共有する。今まで以上に便利に共有ができるようになりました。

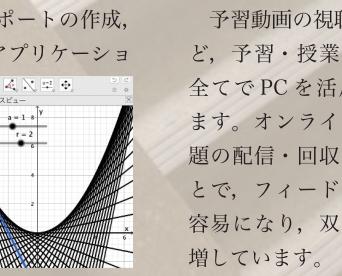
より効果的に

1to1の導入は一斉授業の「意味」を考えるきっかけとなりました。個別に学ぶ場面、ペアで教え合う場面、グループで話し合う場面、クラスで議論する場面、今まで以上に効果的な学習ができるようになりました。

実践紹介

数学科

グラフの作成、図形の作図、データの整理、レポートの作成、表計算などを各自のデバイスで行なっています。GeoGebraを活用し、グラフやデータを観察・分析し仮説や問い合わせ立てたり、手計算で得られた結果を図的に検証し発展させたりしています。また、授業課題の予習の提出にも使用しています。



理科 物理

予習動画の視聴、データ解析やシミュレーション、小テストなど、予習・授業・復習の全てでPCを利用しています。オンライン上で課題の配信・回収を行うことで、フィードバックが容易になり、双方向性が増えています。



芸術科 音楽

授業ごとの学習感想をGoogle Classroomで提出させ、コメントをつけた返却を年次で繰り返しています。また、「連作曲集をつくろう」では、楽譜作成ソフトMuseScore3を活用して各自が作曲した作品（楽譜と音源）をドライブで共有し、相互評価によりブラッシュアップを繰り返すことで、楽器の演奏や記譜に難しさを感じていた生徒も連作曲集を完成させることができました。



理科 地学

YouTube上の予習動画の視聴と「観察重視の対面授業」を組み合わせた「反転授業」の形式を取り入れています。データの整理、レポート作成、プレゼン動画の提出など、様々な形で生徒が成果をアウトプットするためにデバイスを使用しています。

HR・委員会・部活動

授業以外の場面でも様々な形で使用されます。1to1により、面談の予約や意見集約・アンケートの実施など、オンライン上の情報のやり取りが大変便利にできています。コロナ禍ではオンラインHRなどを実施し、三者面談や保護者会などもオンラインで実施したことありました。

【進学実績】

本校生の約半数が国公立大学へ進学しています。令和6年度入試では、東京大学21名（現役13名）、京都大学5名（現役1名）、東京工業大学9名（現役6名）、一橋大学5名（現役2名）が進学しています。また、国公立等医学部医学科は21名（現役8名）、私立大を含めると63名（現役20名）が全国の医学部医学科に合格しています。近年では、ハーバード大学、オックスフォード大学、ブラウン大学、シカゴ大学などを含め、海外の大学への合格者も多くなっています。

現在、東京学芸大学をはじめ、京都大学や東京医科歯科大学（2024年10月より東京科学大学に改称）、工学院大学と高大連携をしており、教育研究の充実・発展に寄与し、探究活動の発表の場として協働しつつ、希望の進路実現の力となっています。

【ガイダンスとサポート】

多様で高い好奇心を大切にしつつ進路選択・進学ができるよう、日々細かく、力強いサポートを行っています。現役大学生や各界で活躍する同窓生からの声を聞く学年別の進路講演会を1年生は1回、2年生は2回実施し、「夢を出会う」進路ガイダンスの充実を図っています。学年を越えて医学部医学科や教育学部、海外大学進学のための個別指導も行っています。また、「夢を実現する力」をつけるために測定するため、各学年で模擬試験を実施し、結果を面談の資料としてや大いに活用しています。各教科において基礎力を高めるため、定期考査前には勉強会、長期休暇中には講習会が開かれます。基礎力を高めるものや演習中心の講座がありますが、「哲学カフェ」「Euclidの互除法と暗号理論への応用」など本校教員の専門性を生かした高度でユニークな講座は人気を集めています。また平日は19時まで自習室が開かれ、自学自習に励んでいます。

キャリア 世界に、未来に目を向ける

本校におけるキャリア教育は、今後の長い人生を見通した「キャリア」を意識したもので、授業も含め、20年後、30年後に責任を持つ射程距離の長い教育を目指しています。そこから、今、目指すべき進路が見えて来ます。

卒業生からのメッセージ

附高の素晴らしいは大きく分けて二つあります。それぞれ高い専門性を持つ先生方のものと、学問の垣根なく多くの分野について学び、広い見識を身につけられるところ、行事や勉強、部活といった様々な活動をやりくりするためのバランス感覚を身につけられるところです。私にとって附高での経験は、学業を中心とした様々な活動に全力投球し、良い意味で欲張りに生きる力の素地となっています。



電車
東急東横線「学芸大学」駅下車 徒歩15分
東急田園都市線「三軒茶屋」駅下車 徒歩20分
バス（東急バス）
【渋谷駅】31番のりば 渋32「野沢龍雲寺循環」行き
【目黒駅】2番のりば 黒06「三軒茶屋駅」行き
【三軒茶屋駅】黒06「目黒駅前」行き
※いずれも「学芸大学附属高校」下車
2024年4月現在

QRコード

東京学芸大学附属高等学校

Tokyo Gakugei University Senior High School

〒154-0002 東京都世田谷区下馬 4-1-5
TEL 03-3421-5151 FAX 03-3421-5152
<https://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp/>



東京学芸大学附属高等学校
Tokyo Gakugei University Senior High School

清純な気品の高い人間・大樹のように大きく伸びる自主的な人間・世界性の豊かな人間

授業 学問の本質を学ぶ

「本物教育」本校の授業のモットーを表す言葉です。実際に触れる授業、学問の深みを感じる授業を目指しています。また多くの科目で実際に触れる機会として教科行事を実施しています。

本校では、「資質・能力の育成」を重視したカリキュラムづくりに継続的に取り組んでいます。「何を知っているか」ではなく、「何ができるか」という観点で、授業づくりを見直すというものです。これは令和4年度から始まった新たな学習指導要領にもつながるもので、また、「1to1(1人1台PC)」や「探究活動」など教育における新たなキーワードとも関連付けながら、より良い授業のあり方を模索し、実践しています。本校教員と共に新たな教育をつくりていきましょう。

本校の教育課程表（令和7年度以降の入学生の場合）

本校では、2年次までは全ての教科・科目が必修で行われています。1・2年生で培った基礎の上に、3年次では各々の将来を見据えた科目選択ができます。
(卒業に必要な単位数は「80」とする、◆は学校設定科目または学校設定教科である、芸術科は選択必修で一つ選択)

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年次	現代 の国語		言語文化		歴史 総合		数学 I	数学 A	生物 基礎		体育	保健		音楽 I	英語 コミュニケーション I		論理 表現 I		情報 I		SSH 地球科学		SSH 探究	HR									
2年次	文学 国語		古典探求	◆	歴史 探求		公共	数学 II	数学 B	数学 C	物理 基礎	化学 基礎	体育	保健	英語 コミュニケーション II		論理 表現 II		情報 II		家庭 基礎		SSH 探究	HR									
3年次	文学 国語		体育	英語 コミュニケーション III		論理 表現 III	3年選択 (7-22単位)	◆古典 A/◆古典 B/世界史探求/日本史探求/地理探求/政治/経済/倫理/ 美術 I/工芸 I/書道 I	◆理系数学演習/数学 C/◆理系数学演習/数学演習/物理/化学/生物/地学/◆理科基礎演習/ ◆選択体育/音楽 III/美術 III/工芸 III/書道 III/◆家庭特講/◆農業 SSH 探究																								

Q 附属高校での授業を通して学んだことは何ですか？
附属での授業はどれも奥が深く、より学びを深めたいと思うきっかけが詰まっています。たとえば私は国語の授業で学んだ短歌に心を惹かれました。以来創作活動を続け、定期的に外部コンテストに応募するなどして力試しをしています。多彩な仲間たちと過ごす学校生活にはたくさんの発見があり、その積み重ねによって想像力が育まれているのを実感する毎日です。課題として出されるレポートや論文の作成では困難も多くありますが、それに地道に取り組み様々な文章を書いた経験が私の言葉に対する感覚を磨き、表現の幅を広げてくれました。

Q 附属高校での生活や授業について教えて下さい
様々な分野を実践的に学び、受験を超えて将来にも有用なスキルを磨きつつ海外交流をしたかった私にとって、最高の学校です。実験、討論、発表などを通して広く学び、知識のみならず経験を増やすことができる魅力的な授業、実際に外部コンテストに応募するなどして力試しをしています。多彩な仲間たちと一緒に学校生活にはたくさんの発見があり、その積み重ねによって想像力が育まれているのを実感する毎日です。課題として出されるレポートや論文の作成では困難も多くありますが、それに地道に取り組み様々な文章を書いた経験が私の言葉に対する感覚を磨き、表現の幅を広げてくれました。

「探究活動」の重視

ビジョンを示し、課題を設定し、解決していく人が社会に求められています。そのような人をつくるために、自ら問いを立て、探究し、発信する「探究活動」を重視した教育を展開しています。1年生では探究の基礎を学び、2年生では全員が各自の興味・関心に沿ったテーマで探究を進めます。また、希望者は3年生で探究活動を継続して深めることができます。月1回程度、土曜日にも授業を行い、授業は全教員によって実施されます。外部の大学や研究機関から支援を受けることも可能です。さまざまな外部発表の機会もあります。



【最近の外部発表会の受賞歴】
第65回日本学生科学賞東京都審査 優秀賞・奨励賞
第66回日本学生科学賞東京都審査 奨励賞・努力賞
日本植物学会第81回大会 優秀賞
令和4年度日本微生物生態学会高校生ポスター発表 優秀ボスター賞
第15回高校生バイオコンペティション 審査員特別賞・ボスター賞
TAMAサイエンスフェスティバル in TOYOKU 2021 優秀賞
令和3年度日本水産学会秋季大会 優秀賞
日本地質学会第125年学術大会 優秀賞

行事 協働の精神を養う

辛夷祭・体育祭はじめとして、行事満載の高校生活です。学校行事では生徒が中心となり、より魅力的な行事になるように協力して運営しています。



体育祭

各学年が赤・青・緑・黄の4チームに分かれて様々な種目で競い合います。真剣に跳んで、走って、踊って、さわやかに汗を流します。

辛夷祭

クラスや部活で娛樂施設や展示施設を開き、日頃の活動を発表する、楽しく熱い文化祭です。中でも3年生のクラス演劇は辛夷祭の華です。

学習旅行

4泊5日の行程で、地域の人々との交流の中で、自然や文化に直接触れ、感性を磨きます。令和6年度からはタイ王国に訪れます。

マラソン記録会

体育の授業の一環で、1・2年生を対象に行います。男子9km、女子7kmのコースを駆け抜けます。各自自己ベストを目指します。



1年次には科学見学実習として研究所や大学などを、2年次には社会見学実習として弁護士事務所や裁判所などを訪問します。

入学式①
4 始業式②③
対面式・新入生歓迎会
Science fair

遠足
5 生徒総会
中間考査
球技大会②

地理実習①
6 体育祭
進路講演会②
終業式
球技大会③

期末考査
7 古典劇鑑賞会②
終業式
林間学校①(夏休み)

始業式
8 夏休み
9 探究成果発表会①②
辛夷祭
進路講演会②

10 中間考査
11 学習旅行②
球技大会①
12 終業式
13 探究最終発表会①②
マラソン記録会①②
講演会①②

期末考査
14 フラネタリウム見学①
筑波観光特別支援学校交換会①②
歌留多会①②
進路講演会①

15 始業式
16 科学見学実習①
社会見学実習②
マラソン記録会①②
講演会①②

卒業式③
17 期末考査①②
探究最終発表会①②
終業式①②

1年次には科学見学実習として研究所や大学などを、2年次には社会見学実習として弁護士事務所や裁判所などを訪問します。

地理実習

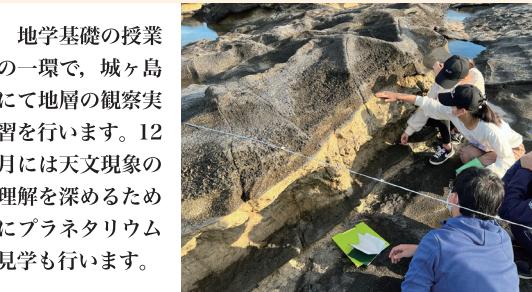
地理の授業の一環で、旧江戸城周辺を1日かけて散策します。総移動距離16kmの中で、地理や歴史の見方・考え方を身につけます。

林間学校

国語の授業の一環で、1年次には現代劇鑑賞、2年次には古典劇鑑賞を中心とした自然体験を通じ、体力の限界に挑むとともに、仲間との友情を深めます。

野外実習

地学基礎の授業の一環で、城ヶ島にて地層の観察実習を行います。12月には天文現象の理解を深めるために、プラネタリウム見学も行います。



Q 学校行事などを通して学んだことは何ですか？
私は学校行事を通して、「チームとして行動する」ということを学びました。地理実習、野外実習、体育祭、辛夷祭・・・などなど、附高にはたくさんの行事がありますが、そのどれにおいても一人のみで完成させることは不可能で、仲間と協力することが不可欠です。その中で、作業を分担したり、自分から自分できることを探したりなどチームで貢献しようと手を打つと感じます。そして、何よりもみんなで割り上げる行事は最高に楽しい！！みなさんも附属高校で最高の行事を体験してみませんか？？

SULE 国際的リーダーを育てる

SULEとは、Scientific Universal Logic for Educationの略で、本校の提案する総合的な文理融合型の本物志向の教育を指す造語です。SSH(令和6年度よりⅢ期目指定)やSGHネットワークの先進的なカリキュラム開発で得られた知見と、本校の伝統的な「本物教育」の融合を目指しています。

「国際交流活動」の活性化

タイ王国のPCSHSCR(プリンセス・チュラボーン・サイエンスハイスクール・チェンライ校)との国際交流を実施しています。毎年、十数名の生徒たちが相互に学校を訪問し、自然科学に関する研究発表を行います。また、コロナ禍を機にオンライン上で共同研究も始めました。海外の高校生との研究交流を通して国際的に活躍できる人材を育成しています。

部活動 心・技・体を鍛える

本校生徒の9割以上がいずれかの部に所属しており、部活動が大変盛んです。全国大会や関東大会に出場する部もあり、限られた時間の中で有意義な部活動を送っています。

特別授業
生徒の知的好奇心を刺激し、視野を広げるための場として、「特別授業」を実施しています。特別授業の事例には、東京工業大学の岩附信行教授をお招きし工学の魅力を体感する「飛び出せ工学君！」や、10年後より良き宇宙での生活のために実験を重ねる「無重力実験講座」などがあります。何事にも挑戦でき、先生方は常に全力でサポートしてくれるという想い出された環境で、本当に濃い時間を過ごすことができます。

Q 探究活動で学んだことを教えて下さい
私は植物プラスチックをテーマに探究活動に取り組みました。テーマ設定の根底にあるのは社会課題の解決です。身近なところにこそ解決すべきことや明らかにしたいことが軒並みあります。それらをいかに客観的データに基づいて論理的に思考するかが大切だと思いました。また、自分の成果を外部に発信することの意義をひしひしと実感しました。自分には無かった視点での意見や質問を受けて議論をし、自分に足りないものに出会えたと同時に、考えが昇華してきました。このように研究のプロセスや楽しさに始まり、他の者との協働やPCの活用、外部に発信する力まで、探究を通して多くの学びを得ました。

【最近3年間の主な活動成績】
演劇部
第67回 東京都高等学校演劇コンクール中央発表会 優秀賞
書道部
第47回 学芸書道全国展 東京都高等学校文化連盟書道部門賞 他
第36回 東京都高等学校文化連盟書道展 優秀賞、部活動功労賞
かるた部
令和5年度 小倉百人一首競技かるた第45回全国高等学校選手権大会 C級4位、D級準優勝
合唱部
令和5年度 東京春のコーラスコンテスト 2024 高等学校の部 混声 最優秀賞
文藝部
令和4年度 東京都高等学校文化祭文芸部門地区大会 第37回文芸部のつどい 文芸部の部 佳作『凱風』
クイズ研究部
全日本クイズリーグ AQL2023 東京西部リーグ ジュニアの部 準優勝(全国大会出場)
ホッケー部
令和5年度 東京都高等学校総合体育大会ホッケー競技会 女子 優勝 関東高等学校ホッケー大会出場
水泳部
令和5年度 全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(インターハイ) 女子400m自由形 女子800m自由形 出場
陸上競技部
第44回 東京都高体連第4支部学年別陸上競技大会 5000m 2位
男子硬式テニス部
令和4年度 第62回 東京都高等学校テニス選手権大会 シングルス 本戦出場(Best72)
ダンス部
令和5年度 第51回体育実技研究発表会 東京都女子体育連盟賞 最優秀賞

Q 勉強と部活動の両立で苦労したこと、心がけていることは何ですか？
私は、バレー部の部長と天文部の副部長を兼任しており、平日は毎日部活に参加していました。そのため、勉強時間が思うように確保できない状況にありました。そこで、平日は附高の授業を勉強のベースにし、授業中に分からなかったことは後で先生や友人に質問したり、自分で検索したりして、当日に解決することを心がけました。そして、土日も部活に参加し、部活以外の時間は自分の足りていない分野の勉強をするというサイクルを作ることを意識しました。また、自分が今やるべきことをリスト化し、一週間のスケジュールを立てることで、無駄のない両立した附高生活を実現させることができたと思います。

附高生は忙しい～1日の様子～
授業は一コマ50分です。お昼休みは委員会活動など盛んに行われています。放課後は部活動だけなく、授業の課題や行事の準備に協力して取り組むなど様々な活動に取り組んでいます。
登校～8:20
午前授業(4コマ)
お昼休み
午後授業(2or3コマ)
放課後・下校～17:00
(部活動等の延長18:00)